

学ぶ・気づく・広がる

人権連続講座を開催します

受講料：無料 1講座のみの参加でも可能です

会場：クロスパル高槻（総合市民交流センター）

7階 702 会議室 *JR 高槻駅中央出口南側

定員：各回申込順 100 名 手話通訳・要約筆記あり

申込期間：9月4日(月)～ 各回定員に達するまで

申込・問合せ先：(一社) 高槻市人権まちづくり協会
裏面をご覧ください

(各回右横の QR から申込できます)

第1回【障がい】9月29日(金)14時～ 中川 佑希さん

誰もが自分らしく暮らせるまち ～心のバリアフリー～



障がいの有無に関わらず、生きていれば誰でもピンチや困りごとなどの障壁の前に立たされます。自分の経験を通して、分かり易く、ユーモアを忘れず当事者の本音で「共に生きること」をお話いただきます。

第2回【平和・ヘイトスピーチ】10月6日(金)14時～ 金 秀煥さん

ウトロで終わらないウトロの話 ～分断よりつながる世界～



戦後の土地明け渡し問題やヘイトクライムの標的となった「ウトロ地区」。幾度となく困難を乗り越え、歴史の問題を人権の問題として教訓を生かし、世界平和を願い続ける言葉を伺います。

第3回【アイヌ・多文化共生】10月13日(金)14時～ 藤戸 裕子さん

アイヌの文化にふれる・学ぶ



独自の文化を否定され追いやられた歴史だけではなく「アイヌのことを多くの人に知ってもらいたい」。先祖から受け継がれてきた文化や学びについてのお話と、生活文化で生まれた民具の展示や、音楽 歌もお楽しみ下さい。

第4回【性・LGBT】10月20日(金)14時～ 柴谷 宗叔さん

LGBTの人々が集うお寺のご住職が語る

～悩んだ末に至った心の有り様～



「自分の心に嘘をついて気持ちを押し殺して生きる」「自分らしく、ありのままに生きる」のどちらを選んでもLGBTの当事者は簡単なことではありません。ご自身の体験や全国から受ける相談を通してお話いただきます。

第5回【男女共同参画・女性】10月27日(金)14時～ 越山 茂代さん

ライフステージの変化と女性の健康課題

～より良いサポートで誰もが毎日いきいきと～



月経前症候群や不妊治療など女性特有の健康課題は周囲の理解が不可欠です。性ホルモンバランスの乱れによってハッピーとは言えない老後を迎え過ごす事もあります。頑張る女性の良きサポーターをめざして学びませんか。

第1回～第5回

会場で人権に関する（同和問題や高齢者問題など）啓発パネルや資料を展示・配布しています。

主催：高槻市 後援：高槻地区人権推進企業連絡会・三島人権擁護委員協議会高槻地区委員会
企画・運営、申込先：(一社) 高槻市人権まちづくり協会 電話 072(647)7825/FAX072(647)7233
HP：<https://www.takatsuki-jinmati.org> ●講座情報・参加申込はホームページをご覧ください

講師情報・申込方法は裏面に掲載



- 申込期間 9月4日(月)～各回定員に達するまで
- 申込方法 下記4つの方法があります
- 参加希望日をお伝え下さい(1講座だけの参加もOK)
- メール→ jinmati-h@takatsuki-jm.jp.org
- ホームページ→https://www.takatsuki-jinmati.org
- 電話→072(647)7825
- FAX→072(647)7233
- こちらのQRからお申込みできます→
- 各回右横のQRからもお申込みできます
- 団体申込も受け付けています



講師・講座情報

第2回 金 秀煥さん

ウトロ平和祈念館副館長
 南山城同胞生活相談センター代表



1976年生まれ。コリアン三世。幼少期から朝鮮学校で学び、朝鮮大学校政治経済学部卒業。2010年からウトロ地区にある南山城同胞生活相談センター勤務。戦争から生まれたウトロという地区は、幾度となく困難に直面しながら日本市民、在日コリアン、そして韓国民が声をあげ、守り抜いてきた地区です。この人々の姿を通じて、人権と平和の大切さ、共に生きることの意味を伝え、この地区から新しい社会と未来を築き、幸せと平和を実現していこうと、ウトロの地で踏ん張るメッセージを伝えていただきます。

第4回 柴谷 宗叔さん

性善寺(大徳山浄峰寺)ご住職、
 高野山真言宗神風山大鳥寺住職、
 高野山大学、園田女子学園大学非常勤講師



LGBTの人々の集うお寺「性善寺」のご住職。少数派の当事者に自分らしくいられる居場所を提供するほか、毎月最終日曜日に相談会を開催し、またインターネットでも全国から相談を受けておられます。まだ理解が進まない若者の「就活」での性差別や、近年では同性婚ゆえ看取る子どもがいない、望む性の戒名をつけてほしいなど「終活」の相談をうけておられます。

●Instagramを始めました!



第1回 中川 佑希さん

オフィスゆうき代表。NHKEテレ「バリバラ」出演、お笑い芸人でんくるんとしてshow-1グランプリ、M-1グランプリにも出場。



障がいがあることで、「人に迷惑をかけないように生きなさい」とか言われてきた。仕方ないなあと夢を持つのをやめた。だけど、これではアカン! 「障がいがあることで自分の夢を思うことをすらすらやめる」そんな社会を変えたい。障がいがあってもなくても、どんな人でも自分の生きたい、人生を自由に思い描ける社会を描きたい」 オフィスゆうき開業宣言より

第3回 藤戸 裕子さん

大阪ミナミナの会代表、
 アイヌ文化活動アドバイザー



1976年生まれ。北海道阿寒出身。幼少期から木彫り作家の父や、アイヌのおばあちゃん、おじいちゃん達から伝統文化を受け継ぎ、その作品は吹田市にある国立民族学博物館にも展示されています。

傷付け合ってきた時代の話ばかりでなく、素晴らしいアイヌの教えを伝え、お互いの文化を尊重し合い、微笑み合い、手を取りあいながら新しい時代を創れるよう、北海道との大阪の往復の合間に、全国を回って音楽、歌、料理や刺繍の文化伝承の活動されています。

第5回 越山 茂代さん

つぐみ助産院院長、
 国際認定ラクテーション・コンサルタント



1986年、助産師免許取得。病院勤務を経て、2002年から出張専門つぐみ助産院(姫路→京都市北区)開業。家庭分娩を取り扱いながら、地域で思春期の子どもへの性教育や、妊娠・出産・育児支援、また企業へ男女参画の研修や介護施設へ出張講座の開催を通して、女性とその家族の一生に寄り添う取組を行っておられます。

あわせてパートナーへの啓発にも力を注ぎ、性別にかかわらず、どのライフステージにおいてもお互いを尊重し、良きサポーターとなれるような取り組みをされています。

